

第70回

東京大学医学教育セミナー

Tufts' Curriculum Reform and Implications for Medical Education

タフツ大学のカリキュラム改革とその意義

数十年にわたって基礎医学と臨床医学の統合による学習の改善という医学教育改革が叫ばれてきたが、医学生や教員にとってどのような変化が生むのだろうか。すでに研究、臨床、教育をやり繰りし、精一杯働いている研究志向の大学で変化を起こせるのか。タフツ大学の統合カリキュラムの例では、医学・歯学・獣医学の4年分の教材をオンラインで全学生と教員が利用でき、評価は双方向学習に基づき、臨床スキルは学生間、あるいは学生-教員間のよりよい関係性により、批判的思考や問題解決スキルを伸ばしてくれる、といった双方向事例学習を通じた論点を提供してくれる。今回の講演では、改革プロセスにおいて鍵となるポイント、学生と教員へのインパクトをもたらす選択、得られた教訓について議論したい。(講演は英語でおこないます。)



Mary Lee 先生

東京大学医学教育国際研究センター 特任教授
米国 タフツ大学医学部教授
タフツメディカルセンター 教育改革特別顧問

2014年10月30日(木) 18:00~19:30

東京大学医学部図書館3階 333会議室

主催・問い合わせ先

東京大学大学院医学系研究科附属
医学教育国際研究センター

TEL: 03-5841-3583 E-mail: ircme-lec@m.u-tokyo.ac.jp

URL: <http://www.ircme.m.u-tokyo.ac.jp>

※出席をご希望の方はなるべく事前のご連絡をお願いいたします。



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO